

平成30年度 第2回学校運営協議会 記録

実施日 平成30年11月2日（金） 14時30分～16時30分

参加委員 山口 裕稔 委員（槻の木高等学校 PTA 会長）
田中 隆夫 委員（観世流能楽師シテ方）
宮坂 政宏 委員（(株)ERP編集主幹）
山口 善章 委員（高槻市立第一中学校 校長）
事務局員 田中 徹 （槻の木高等学校 教頭）
河嶋 憲治 （槻の木高等学校 事務長）
山本 尚 （槻の木高等学校 首席・学校運営室長）
田中 眞 （槻の木高等学校 首席・1年学年主任）
常盤井 志伸 （槻の木高等学校 教諭・学習指導室長）
荒掘 耕二 （槻の木高等学校 教諭・生活指導室長）
小西 久美子 （槻の木高等学校 教諭・学年室長）

<開会>

<学校長あいさつ>

今日は、皆様お忙しい中ありがとうございます。

7月末の第1回では、地震や豪雨の話をしていましたが、以降猛暑や台風の影響もあり、今年は様々な自然災害がありました。4月に着任しまして約半年、災害発生時の対応等、様々な課題がございましたが、先生方が一丸となって取り組んでいますのでこれからもご指導宜しくお願い致します。今日は、今年度の学校経営計画の進捗状況及び生徒の状況等を紹介して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

<委員紹介及び事務局員紹介>

<山口会長あいさつ>

会長を務めさせていただいております、山口です。宜しくお願い致します。今日は、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。先程、授業見学をさせていただきまして生徒の皆さんは静かに授業を受けているというのが感想です。進路実現のために日々頑張っているところですが、先生方には今後ともご協力をお願いし、槻の木高校のために本日お集まりの皆様にも貴重なご意見をいただきたいと思っております。宜しくお願い致します。

<協議>学校経営計画進捗状況について

大西校長

（学力向上に向けて）

- ・新学習指導要領では講義型の授業だけではなく生徒主体で対話的な深い学びが求められているので、

生徒自ら自主的に考えることや意見を交換し合う場を設けていかなければならない。各教科でペアワークなどを取り入れて授業を行っているところである。

- 学習習慣を身につけさせるために、週末課題や週テスト、長期休暇中の課題など活用している。教科によっては小テストなどを行い、学習習慣の定着に向けて工夫している。
- 課題学習やグループワークなどのアクティブラーニングばかりは出来ない。しっかりと基礎学力を定着させる講義型の授業もしていかなければならないので、そのバランスが大事になってくる。
- 面談の年間目標回数 1000 回をもう既に上回っている。9 月までに 1、2 年生は 1 人当たり 1.5 回、3 年生は 2 回行っている。
- 槻の木 NEXT STAGE としてペンパル交流、オーストラリア研修を行った。オーストラリア研修に関しては参加した 20 名の生徒を対象に事前研修として JICA 関西への訪問や立命館大学の留学生と交流をした。
- 遅刻数は極めて少ない。冬場に向けて遅刻数が多くなる傾向があるが、数字としては例年通りである。
- 遅刻や無断欠席をさせないだけでなく、提出期限を守らせる・挨拶や掃除の徹底などもしている。教員も校門に立ち、登校指導・下校指導で挨拶、服装指導を徹底している。
- 事務職員も PTA・生徒・教員と共に花の苗植えを行っている。近年、技師さんが 2 人から 1 人になっていることから PTA・生徒・教員・地域にも協力していただき学校をきれいにしていきたい。
- 教育相談室を開設した。現在、生活指導室を中心に活動しているが、教育相談係としては教員を配置していないので、来年度に向けての課題として協議していきたい。
- 修学旅行や体育大会・文化祭等の学校行事において、生徒が主体的に活動できる環境づくりを推進している。生徒満足度は 97.5%であった。

(先進的で他をリードする学校づくりについて)

- 今年度から先進校視察を行っている。主に「新学習指導要領の施行に向けて」「防災について」「進学指導について」「授業力向上に向けて」を経験の少ない教員の研修も兼ねて視察に行ってもらい、伝達研修を行う。
- 様々な研修会の全教員への伝達を職員会議後に実施するなどし、全教職員が広い視野を持って教育を行っていく。
- 地域との連携として、地域の祭りにも積極的に参加している。PTA との連携も積極的に行い、体育大会や文化祭にも多くの保護者の参加があり支援いただき有難く感じている。懇談にも積極的な参加があり、進路実現に向けて保護者と連携して行っていけることを心強く感じている。
- 週末には、メールマガジンで保護者向けに情報発信を行っている。
- 今年度内に同窓会費で 300 万円の支援をいただき、体育館下のトイレの改修をする予定である。
- 10 月 13 日にオープンスクールを開催した。他にも多くの学校説明会を開催し中学生・保護者に向けて理解を求めている。

田中教頭

(前期授業アンケートについて)

- 7 月の授業アンケートの結果報告。生徒の授業への取り組みを図るものとして 9 項目を調査している。

- ・項目別に出た結果としては大事だが、数字の1つ1つを細かく見ていき、多い少ないで分析し判断するのではなくて、大きな傾向を見ていく。
- ・例えば、数学・理科・社会では「予習・復習をしている」という質問項目については「**くあてはまらない**」と答えた生徒が多くみられた。しかし、数学・理科・社会では予習・復習をしないわけではなく、この質問内容だと予習も復習も同程度に行わなければ「**くあてはまる**」に丸をつけてはいけないという意識があったのではないか。実技科目の保健体育や芸術では非常によかった結果が出ているが、質問項目が「授業中は集中して先生の指示やアドバイスを聞いている」となっている。これは実技科目としては当然のことなので、数値が高くなっている。また、「授業の内容や進度は自分にとって適切である」という質問項目では理科や数学では数値が低い。これは理科や数学を苦手としている生徒が多いためであると分析している。「先生は教科書に他に役に立つプリントなどを上手く使っている」という質問項目では教科によっては授業形態が異なるので、当然違いが出てくる。このような傾向があることをご理解いただきたい。
- ・この結果を教科に返して、分析してもらい授業形態等を見直すきっかけにしてもらう。
- ・生徒の授業に関する満足度も非常に高い。これからもより良く改善していく。
- ・後期の授業アンケートは12月に実施することになっているので、次回の学校運営協議会で示す。

学校運営室長 山本 尚教諭

- ・今年度は台風21号、24号、地震の被害があり、「防災」について改めて考えさせられた年である。大阪府からも様々な指示があるが、現在検討しているのは生徒たちの安否確認を学校としてどのように対応していくかである。
- ・安否確認をするための場合分けを行った。〈生徒が学校にいる時〉〈生徒が家にいる時〉〈生徒が通学途中の時〉の3つに分けて考えている。
- ・学校運営室では〈生徒が家にいる時〉の安否確認の方法を考え、〈生徒が通学途中の時〉は生活指導室、〈生徒が学校にいる時〉は学習指導室及び学年室で方策を考えている。
- ・学校運営室の1つの方策として、現在利用している携帯メールサービスを活用して安否確認を行うことを模索している。この携帯メールサービスはそもそも生徒に配付した文書等を保護者の方にお知らせするものだが、安否確認の為に「ここに返信してください」と送信することによって安否確認ができるのではないかと考えている。HPにも掲載して全生徒の安否確認を行うが、本当に大きな災害が起こったときにはどれくらいの割合で確認を取れるかはまだわからない。しかし、学校として安否確認をしたいという姿勢を発信していく。
- ・先進校視察では防災について力を入れている兵庫県立舞子高等学校 環境防災科 に視察へ行き、災害時の学校としての対応・対策を組織としてどのようにしているのかを視察してくる。様々な情報を集めて学校の方針を決めて組織として対応していかなければならない。
- ・槻の木 TIMES vol.3, 4 を学校広報活動の資料として作っている。Vol. 4 は学校生活の1日の流れを写真も載せながらうまくまとめられている。
- ・槻の木 NEXT STAGE については、卒業生が勤めている京都大学 iPS 研究所に、19 名が見学させてもらった。第2回の訪問も11月24日に控えている。また、京都大学総合人間学部の学生とも交流をし、大変有意義な訪問になった。

学習指導室長 常盤井教諭

- ・3年生：センター試験の出願が終了。(217名で全体の約91.6%)
国公立大学の推薦入試や指定校推薦を受験する生徒もいる。
- ・2年生：3年次の選択科目を決めている。
- ・1年生：2年次の選択科目を決めている。新入試制度への対応は各教科で行っている。(英語はGTEC)
外部試験だけでなく、日々の学習を大切にするように伝える。
- ・新学習指導要領に向けて、教科で対応を検討しているところ。

生活指導室長 荒堀教諭

- ・教育相談室について、夏以降は教員が分担して相談の体制を広げた。生徒のニーズを汲み、来やすい工夫を今後も行っていく。教員の体制も整えていく。

学年室長 小西教諭

- ・スライドを活用して、部活動、学校行事について説明。

〈協議〉

宮坂委員

これからも規律ある学校であってほしい。「信頼関係」、「規範意識」、「協働」を基盤とした学校運営に加え、教員間、教員と保護者とのネットワークを大切にしていきたい。
また、学習面に関して、受験などの直近のことを学ぶことも大切であるが、10年後の将来を見据えた指導も生徒にとって大切だと考えている。

山口副会長

授業風景、スライドで学校風景を見られてよかった。学習に集中している雰囲気であった。各教科の授業を公開していくことは生徒のためにもなるので、ぜひ今後もこのような機会を設けていただきたい。英語の授業をオールイングリッシュで行うことについて、中学校でも現在取り組み始めているが、高校も今後そのようになっていくのだと思う。

田中委員

行事などを通して1つのものを創り上げていくことで、生徒の心の成長につながると感じた。

宮坂委員

授業アンケートの中で、何が課題になるのかがわかる質問があると良いのではないかな。

山口会長

行事を見に来られる保護者も多く、学校に対する関心が高いと感じている。学校運営に関して、PTAとして支援していきたい。

宮坂委員

施設設備として不十分なところがあるので、府教委に届けるなどの対応をよろしくお願いしたい。

〈閉会〉